

新型コロナウイルス感染症による 医療ひっ迫の状況について

- 入院患者数の推移（R4.10.1以降）
- 新型コロナ患者の入院調整等の現状
- 医療ひっ迫を防ぐためのお願い

疾病・感染症対策課

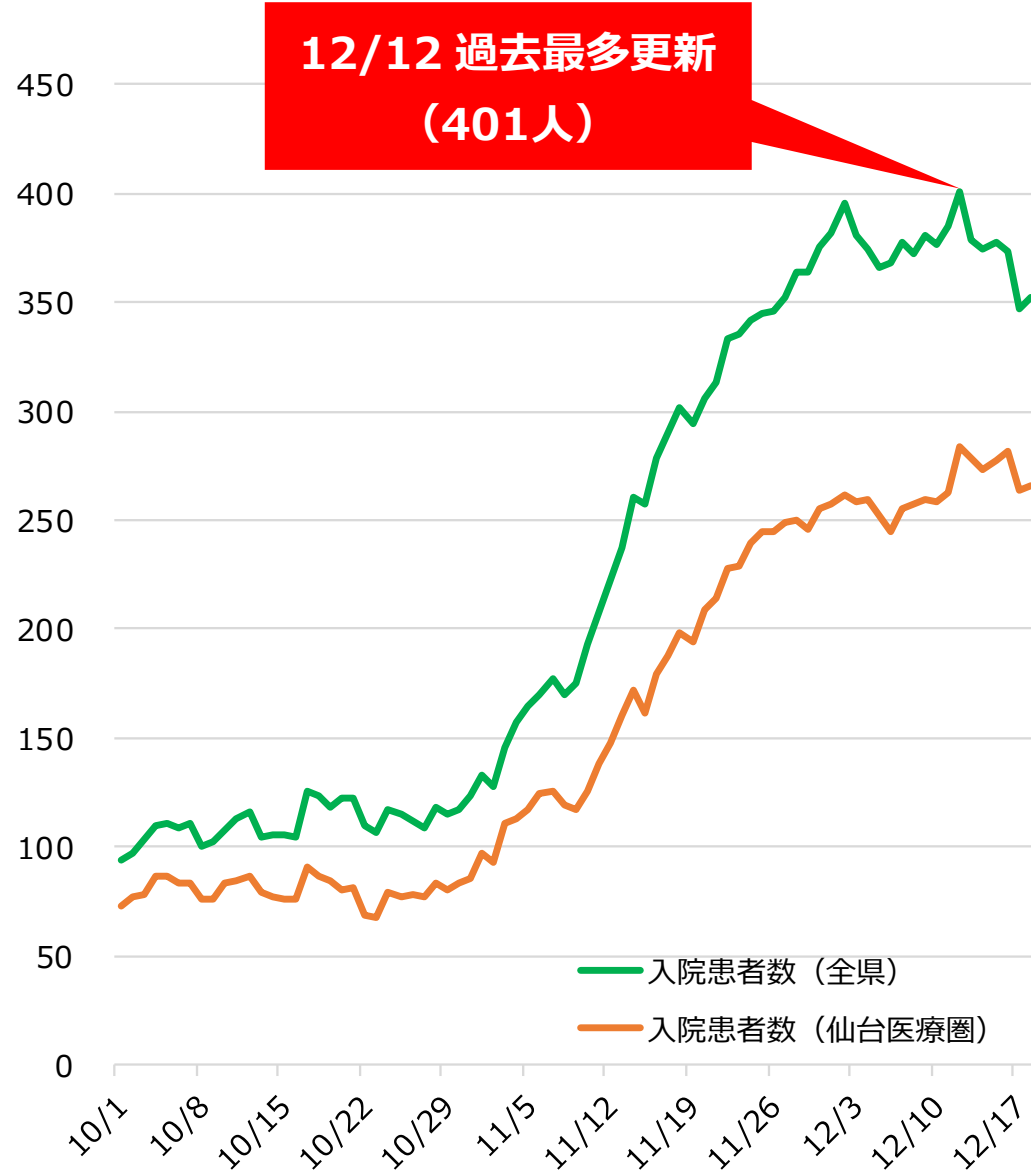
担当：榊原、平間（211-2632）

新型コロナ調整室

担当：伊藤、齋藤（211-2354）

佐藤、矢部（211-2658）

入院患者数の推移（R4.10.1以降）



受入可能病床の使用状況

時点： R4.12.18 10時	全県	
	全入院者	うち重症者
使用率	84.2%	56.5%
使用病床	352床	13床
確保病床数	418床	23床

確保病床の使用状況

時点： R4.12.18 10時	全県	
	全入院者	うち重症者
使用率	57.5%	23.6%
使用病床	352床	13床
確保病床数	612床	55床

新型コロナ患者の入院調整等の現状

- ・院内でのクラスター発生や、病院スタッフのコロナ陽性によるマンパワー不足等により受入困難な医療機関が複数発生している。
- ・1人の陽性患者の入院先決定までに、複数の医療機関へ打診しなければならず、調整に多大な時間を要している。
(例：夜間救急要請1件に対し、延べ18医療機関に要請、調整に約5時間)



真に入院加療が必要な人しか受け入れられない状況

医療ひっ迫を防ぐためのお願い

医療機関への過度な負担を軽減させるため、**救急外来及び救急車の利用は適切に行ってください。**

- 医療機関を受診する場合は、可能な限り平日昼間にお願いします。受診する前に、必ず医療機関にお電話でご相談ください。
- 夜間・休日は、受診・相談センターにお電話いただくか、お近くの急患センターや休日当番医にご相談ください。
 - ・**受診・相談センター**
022-398-9211 または 050-3614-4531
※新型コロナ陽性で療養中の方は陽性者サポートセンターへ電話
- 急激に体調が悪化した場合など、救急車を呼ぶかどうか迷ったときには、以下のご利用をお願いいたします。
 - ・**おとな救急電話相談 #7119**
 - ・**こども夜間安心コール #8000**



新型コロナウイルス感染症かも？

急な発熱等で具合が悪い・・・
病院？ 救急車？ 迷ったら

発熱等の症状が生じた場合
(緊急性が高くない)

- ・新型コロナの感染が疑われる
- ・医療機関で診療や検査を受けたい

新型コロナ陽性で療養中の方は、
陽性者サポートセンターへ相談

24時間

仙台市の方 仙台市以外の方
080-2849-6574 0120-89-0181
090-1403-0571

平日昼間

かかりつけ医や地域の医療機関に相談

24時間

受診・相談センター

022-398-9211 または 050-3614-4531

急激に体調が悪化した場合
(緊急性の高い症状が見られる)

新型コロナ陽性で療養中の方は、
陽性者サポートセンターへ相談

(電話番号は上記参照)

緊急性の高い症状の例

- ・顔色が悪い (顔色が明らかに悪い、唇が紫色 など)
- ・息苦しさ (息が荒い、息苦しい、胸の痛み、肩で息をしている など)
- ・意識障害 (ぼんやりする、もうろうとしている、脈がとぶ など)

平日昼間

かかりつけ医や地域の医療機関に相談

夜間・休日

おとな救急電話相談 #7119

※平日:19時～翌8時、土曜:14時～翌8時、
日曜・祝日:24時間

プッシュ回線以外、
PHSからは
022-706-7119

15歳未満のお子様は

こども夜間安心コール #8000

※毎日:19時～翌8時

プッシュ回線以外、
PHSからは
022-212-9390

いつもと違う、明らかに様子がおかしい場合
(意識がない、ぐったりしている など)

すぐに **119番**